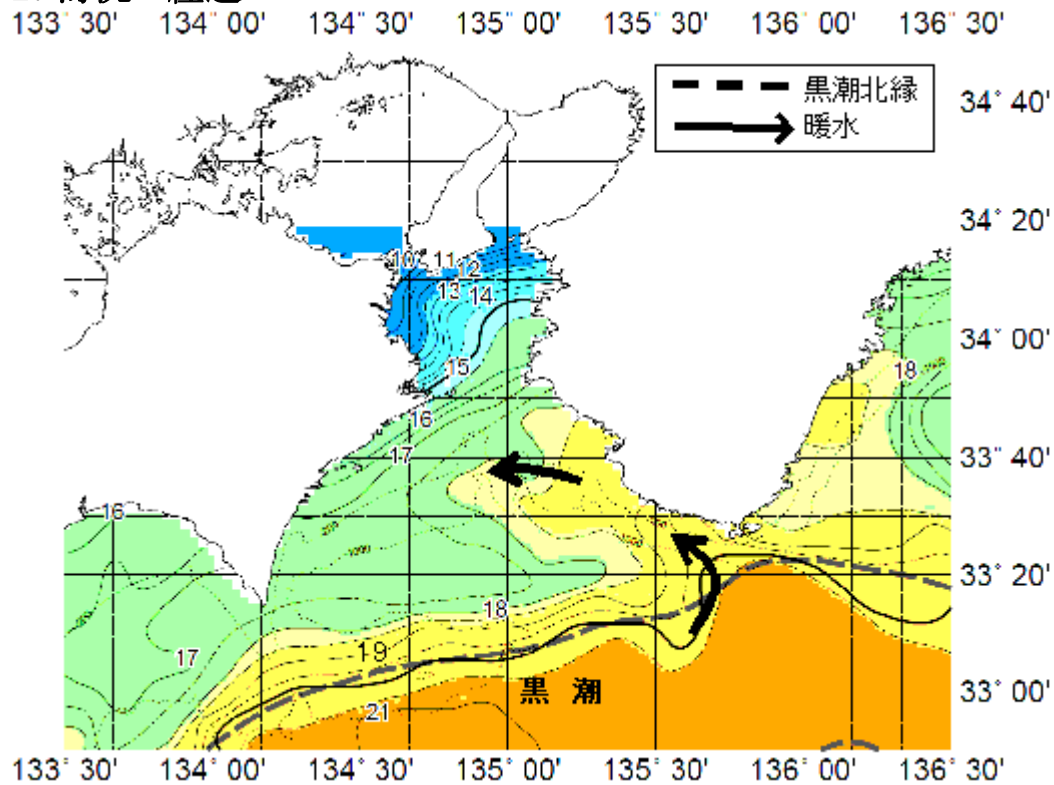


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.3.2)を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖で接岸、都井岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は20～21℃台である。

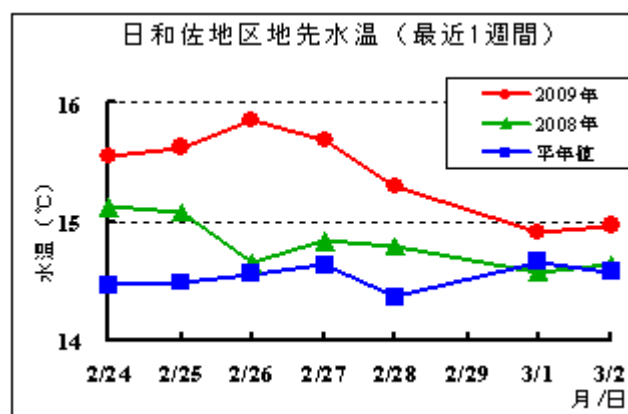
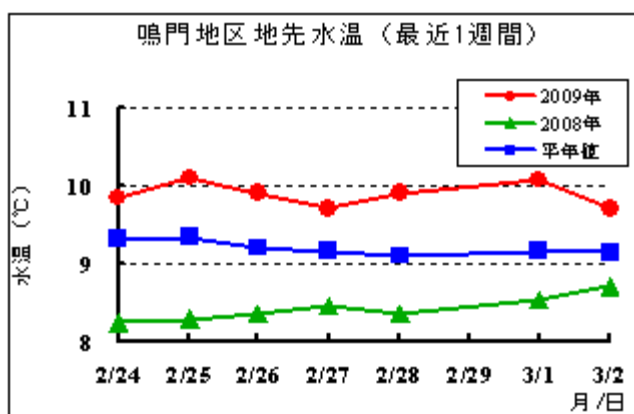
表面水温は播磨灘が9℃台、紀伊水道が9～15℃台、外域が15～17℃台である。

紀伊水道外域は、和歌山県側から、黒潮系暖水が反時計回りに流入している。3月2日の漁業調査船「とくしま」による観測では、徳島県海部沿岸上灘において、水深10mで0.6ノットの下り潮がみられた。

紀伊水道内では、和歌山県側から黒潮系暖水の波及を受けており、潮境が形成されている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の9.7～10.1℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.9～15.9℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の14.5～16.3℃で推移した。



2. 漁況の経過

建網:海部沿岸で、小主体にヒラメが1.5トン(1日1隻当たり51kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、カタクチイワシが0.5トン(同30kg)、キビナゴが0.7トン(同29kg)水揚げされた。

大型定置網:大主体にイサキが0.2トン(同35kg)、ブリが8.1トン(同541kg)、小小主体にマアジが0.7トン(同96kg)、メジロが0.8トン(同62kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.4トン(同7kg)、特大・大主体にタチウオが0.6トン(同107kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが1.3トン(同74kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 2月23日～3月1日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
建網	海部沿岸	ヒラメ	30	1,538	51	小主体
小型定置網		カタクチイワシ	18	535	30	
		キビナゴ	23	678	29	
大型定置網		イサキ	7	242	35	大主体
		ブリ	15	8,122	541	
		マアジ	7	675	96	小小主体
		メジロ	13	803	62	
釣り		アオリイカ	62	432	7	大主体
		タチウオ	6	639	107	特大・大主体
		紀伊水道	タチウオ	17	1,262	74

特異事項:

漁業調査船「とくしま」によるクラゲ調査において、紀伊水道北部で傘計10～20cmのアカクラゲが多くみられる海域があった。

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の10℃台、日和佐地先で「平年並み」の15℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上